

佛心寺 お手紙掲示板 八月



夏の夜、ふと空を見上げて「きれいだな」と思うことはありませんか。お盆に帰省された時、久しぶりに星を眺めた方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

あの星の光は、何年も、ものによっては何百年も前に、星を出発した光だそうです。いま見えているのは、その星のむかしの姿。

なかには、すでに燃え尽きて、今はもう無い星の光を、私たちは見ていることさえあるそうです。

遠いものほど、古い光が届く。考えてみると、不思議ですね。

亡き人を思い出すことも、少し似ているのかもしれない。もう、そばにはいない。それでも、かけられた言葉や、その方の生き方は、今も私のところに届く。

「もういない」のに「いまも届いている」。星の光と、同じですね。

夏の名残りの夜、少し涼しくなった空を見上げてみませんか。そこに見えている光も、はるかむかしに出発した光です。

今見ている星は
むかしの光